

富士倉製品のポータブルバッテリーQ&Aについて

ポータブルバッテリーについて、最近ユーザー様からの問い合わせが多くなってきていますので、比較的多く寄せられている項目を明記致します。

Q：ポータブルバッテリーの使用時間は

A：使用時間は接続する機種によって違ってきます。ポータブルバッテリーには必ずバッテリー容量が明記されています。BA-155の場合、150Whとなっております。定格消費電力50Wの電気製品を接続した場合の使用時間は $150\text{Wh} \div 50\text{W} = 3$ 時間となります。以上の通り、【バッテリー容量÷使用機器の消費電力＝使用時間】が分かります。

Q：バッテリーは充電したらどれ位持ちますか。

A：リチウムイオンバッテリーの特徴上、自然放電率は年間約5%前後と言われておりますので、充電し使用しなかった場合、2年間は余裕で蓄電しております。半年に1回位バッテリー容量を確認して下さい。また、充電する場合、重ね充電が可能です。使用しバッテリー残量が半分程になったら充電して頂いても結構です。従来の電池のようにメモリー効果がリチウムイオン電池にはありません。

Q：リチウムイオンバッテリーは危険だと聞いているが

A：確かにリチウムイオンバッテリーは取扱い方法を間違えると発火したり爆発します。BA-155には幾重もの安全回路（BMS）が搭載されています。過充電保護回路、過放電保護回路、短絡保護回路、温度上昇保護回路、低電流保護回路、低電圧保護回路、等万全を期してます。最近では発火し難いリン酸鉄系のバッテリーを大容量の製品では使用しており、より安全性が高くなっています。

Q：スマートフォンはどれ位充電できますか。

A：スマートフォンのバッテリー容量に大きく左右されます。例えば【iPhone 12】であれば18W 2200mA～2700mA 【iPhone SE】であれば12W/1850mAですのでBA-155のバッテリー容量420,000mAを使用機器の容量で割って下さい。【iPhone 12】で約19回～15回程度になる。【iPhone SE】は約22回程度。

Q：PSE表示マークとは

A：電気用品安全法により製造販売先、輸入先に必ずPSEを取得し表記する事が日本国内での販売で義務付けられています。必ずPSE表記のある製品を購入下さい。

Q：購入した製品が故障した場合や、サポートはどうなっていますか。

A：通販会社で購入した製品には輸入業者が多く関わっており修理、サポートを全く行っていない会社もあります。ポータブルバッテリー製品は精密機器であり、誤った使用を行った場合、重大な事故を引き起こします。最悪の場合、発火、爆発の危険性もありますので、サポート体制の整ったメーカーを選んで下さい。購入して失敗した事例も多くあります。

Q：長い間使用しバッテリーの使用時間が短くなってきたが。

A：当社の場合、修理対応でバッテリーの交換を行っております。また、古いバッテリーはリサイクル業者に持ち込んでリサイクルを行っております。組電池のリサイクルは製造販売業者、輸入業者にリサイクル法により回収、リサイクルが義務付けられていますが、殆どのメーカーが行っていません。故障したからと言って勝手に廃棄したり、捨てたりした場合、罰せられます。（廃棄する場合弊社へお送り下さい。弊社でリサイクルし処分を行います。富士倉製品のバッテリーには富士倉のマークを貼ってます。）

Q：AC出力が60Hzになっているが50Hz地域では使用できないのか。

A：日本では静岡県の富士川と新潟県の糸魚川を境にしHzが違います。西が60Hz、東が50Hzです。しかし、現在の日本では殆どの家電製品はHzフリーで使用できます。50Hzで使用するより60Hzで使用する方が約15%程度効率良く動作します。

Q：別売でソーラーパネルを販売しているが。

A：緊急時や電源のない場所で充電を行いたい場合にはソーラーパネルがあれば大変便利です。太陽光さえあればどこでも発電でき、蓄電できます。